

- 問1 北関東工業地域に属する栃木県の工業について、製造品出荷額の構成における特徴を述べた文として、正しいものはどれか。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)
1. 東京湾沿いの立地を活かした、原油の精製や化学製品の製造が中心である。
 2. 伝統的な繊維工業が現在も最も盛んであり、機械工業の割合は低い。
 3. 輸送用機械器具と並んで、電気機械器具の出荷額の割合が高い。
 4. 石油化学工業と鉄鋼業が、県全体の出荷額の過半数を占めている。
- 問2 栃木県の産業について、足尾銅山のような歴史的背景を持つ鉱業から、現代の工業へとどのように変化しましたか。現在の栃木県の工業的特徴を説明したものとして最も適切なものを選んでください。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. 渡良瀬川の水力を利用したアルミニウム精錬が、県を代表する製造業となっている。
 2. 輸向け絹織物を中心とした軽工業が、現在も県全体の製造品出荷額の大部分を占めている。
 3. 東北自動車道などの高速道路沿いに、自動車や電気機器などの機械工業の工場が多く進出している。
 4. 広大な平野を活かし、製鉄所や石油化学コンビナートが立ち並び重化学工業地帯を形成している。
- 問3 地形図において、国道20号線を示す太い道路に対して、旧街道である甲州街道が直角に交わり、アルファベットの「T」の字のような形状で合流している地点があります。このような形状の交差点を何と呼びますか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 丁字路（丁字型交差点）
 2. スクランブル交差点
 3. 環状交差点（ラウンドアバウト）
 4. 十字路
- 問4 生産農業所得統計のデータによると、関東地方は農業産額が2兆円を超える国内最大規模の農業地域であり、その内訳において「野菜」が占める割合が約41.5%と非常に高いことが特徴です。このように関東地方で野菜の生産割合が高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 山がちな地形を活かして、水はけの良い傾斜地で果樹栽培に特化しているため
 2. 冬でも温暖な気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める工夫をしているため
 3. 大消費地に近い利点を活かし、鮮度が求められる作物を効率よく供給できるため
 4. 広大な十勝平野のような土地を活用し、大規模な機械化による生産を行っているため
- 問5 日本の諸地域の自然環境に関する説明のうち、関東地方を流れる利根川の特徴を述べたものとして正しいものはどれですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. 急勾配な地形を流れるため、日本で最も水力発電の発電量が多い河川として知られる。
 2. 日本で最も流域面積が広く、その広大な流域は関東地方の1都5県にまたがっている。
 3. 日本で最も長さ長い河川であり、長野県から新潟県を抜けて日本海へ注いでいる。
 4. 火山灰が堆積したシラス台地を削りながら流れ、広大なラワンぶきを育んでいる。
- 問6 関東地方の東部に位置し、太平洋に面して九十九里浜が広がっている千葉県半島の名称を答えよ。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. 能登半島
 2. 房総半島
 3. 紀伊半島
 4. 三浦半島
- 問7 1960年代には集落のすぐそばまで遠浅の海が迫っていた千葉県木更津市の沿岸部について、その後の地形図の変化を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 中央官庁や地方自治体の施設が移転・集積し、県内の政治・行政の中心地へと変化した。
 2. 海岸沿いに広大な針葉樹林が植栽され、林業を中心とした地域へと変化した。
 3. 大規模な埋め立てが行われ、工業用地や港湾施設、工場群が広がる景観へと変化した。
 4. 遠浅の海を活かした大規模な水田開発が進み、県内最大の穀倉地帯へと変化した。
- 問8 世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を構成する「田島弥平旧宅」の説明として、最も適切なものはどれか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 通風をよくする工夫を凝らした建物で、近代的な養蚕技術の開発・普及に貢献した施設
 2. 銀の採掘から搬出までを行うために、山間部に築かれた鉱山と関連する施設
 3. 官営の模範工場として、西洋の機械を導入し生糸の大量生産を可能にした施設
 4. 積雪に耐えるための独特な屋根構造を持ち、地域の共同体で維持されてきた集落
- 問9 東京都中央卸売市場において、キャベツの出荷量のうち関東地方の県が占める割合が40パーセントに達している背景には、どのような農業の特色がありますか。最も適切な説明を選んでください。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 大消費地である東京に近い利点を生かし、鮮度の高い野菜を供給する近郊農業が盛んであるため。
 2. 暖かい気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める促成栽培が大規模に行われているため。
 3. 標高の高い地域の涼しい気候を利用して、夏でもキャベツを栽培できる高冷地農業が発達しているため。
 4. 広大な土地を活用し、機械化を進めることで、九州地方などの遠隔地から大量に輸送する体制が整っているため。
- 問10 関東地方の房総半島からその周辺にかけて広がる地域は、北部に国立公園に指定されたリアス海岸があり、南部には大規模な埋立地が造成されています。この地域における、高度経済成長期以降の工業の発展の様子を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 豊かな森林資源と水資源を活かして、明治時代から製紙・パルプ工業が発達し、現在も沿岸部を中心に国内有数の出荷額を誇っている。
 2. 広大な平野と冷涼な気候を活かして、大規模な畑作や酪農と結びついた食料品工業が、広域的な交通網に沿って発展した。
 3. 国際貿易港に隣接する岬などの地形を活かして造船所が作られ、埋立地には輸入原料を利用する大規模な製鉄所が建設された。
 4. 穏やかな海面と広大な塩田跡地を利用して、石油化学コンビナートや自動車工場が集中する、瀬戸内海沿岸の工業地域を形成した。
- 問11 関東地方などの人口が集中する大消費地の周辺で行われている、立地上の利点を最大限に活かした農業の名称として正しいものを選びなさい。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
1. 促成栽培
 2. 大規模機械化農業
 3. 抑制栽培
 4. 近郊農業
- 問12 関東平野の台地の大部分を覆っている、富士山や箱根山などの火山から噴出した火山灰が降り積もってきた赤土の層を何といいますか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 風成砂丘
 2. 関東ローム
 3. 沖積土
 4. シラス台地
- 問13 地域調査の資料として、逗子駅から逗子海水浴場までのルートを2万5千分の1地形図で確認したところ、駅と海岸線までの図上の長さが4cmでした。このとき、実際の実測（水平距離）は何メートルになりますか。計算の結果として正しいものを選択しなさい。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. 2,500メートル
 2. 500メートル
 3. 100メートル
 4. 1,000メートル